

勝たせられる打撃を

③市川瑛珠 (一塁手、六戸・七百中出)



センバツ だより

八学光星

大阪入りしてから練習試合などで実戦を重ねる中で、自分もいい感じでバットを振れています。

八戸の室内練習場は人工芝だったが、こちらで土にも慣れて、守備も安定してきました。1回戦はサードコーチチャーを務め、出場したい気持ちが高まりました。滋賀学園は左右の好投手がおり、中軸を中心とした打撃がよいチームという印象があります。出場したら、チームを勝たせられるようなバッティングをしたいと思います。

光星 守備練習に励む 2回戦へ闘志「打ち勝つ」



実戦を想定した練習に汗を流す八学光星ナイン
＝大阪市南港中央野球場

選抜高校野球大会第6日の24日に、近畿地区代表の滋賀学園との2回戦に臨む八学光星ナインは21日、大阪市南港中央野球場で約2時間の練習を行った。初戦での度重なる失策を受け、守備の精度向上に取り組んだ。

20日のセンバツ1回戦では21世紀

選手たちはキャッチボールで体を温めた後、内外野に分かれてノックを実施。走者をつけた実戦練習では、守備陣が機敏な動きで打球をさばっていた。

「守備でリズムをつくり、初球から積極的にスイングをかけて打ち勝て

対戦相手の滋賀学園は、2年連続4度目のセンバツ出場。昨秋は県3

積極的にスイングをかけて打ち勝てれば」と必勝を誓った。(千葉達也)